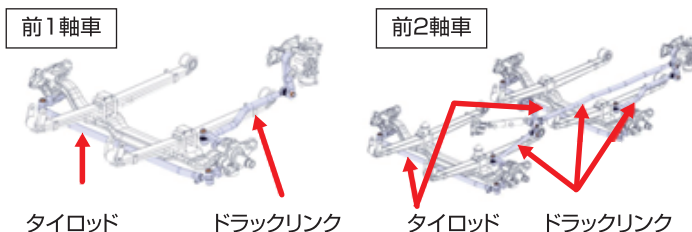


ステアリングリンケージ ダストブーツ点検時の注意

ステアリングリンケージ・ボールジョイントについては、緩み、ガタ及び損傷については3か月毎、ダストブーツの亀裂及び損傷有無の点検は12か月毎の定期点検項目になっています。

ダストブーツの損傷は、ボールジョイントの潤滑・摺動不良に繋がり、最悪ボールジョイントの脱落、操舵不能になるおそれがある為、定期点検時の注意事項について、2017年式クオンを例に展開します。



※目視だけでなく手で触ってブーツ破れが起きないか、ブーツを掴んで水分が内部から出ないか確認のこと

1 外観で錆汁やグリスの流出有無を確認

※ボールジョイント内部に水浸入してボールジョイントの錆が出ていると推定されるため



グリスが染み出している例



ボールジョイント全体に錆汁付着の例

2 更にダストブーツの汚れを落とした上で以下確認

●ダストブーツのウレタン表面に穴、亀裂があるか



●ダストブーツのラバー表面に明らかな亀裂、穴でなくても、擦り切れ、摩耗痕のような細かい傷があるか

※貫通亀裂になっていなくても、表面に傷、亀裂が見つかった場合は異常と判断



3 上記点検で異常が確認された場合は、必ず部品交換願います。

おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証の対象になりませんのでご注意ください。